otona no gakkou 大人の学校

講座のご案内

2023年3-4月号

お申し込み

このご案内を見た方はどなたでも講座へ参加ができます。

オンライン講座

耕す市民のススメ

農的暮らしを始めるための一歩

2023年3月18日（土）14時～16時
参加費 1,000円

日本の食料自給率の低さや農家の減少などを考えると、食の未来に不安を感じます。消費者として食べて応援することと共に、都市住民が「農」を生活に取り入れ、わずかでも自らの手で生産することができれば、農業への理解が深まり、関心が高まるのではないでしょうか。講師と共に、日本の農業や都市住民の「農」への関わり方について考えます。

講　師　榊田みどり さん

農業ジャーナリスト・明治大学客員教授。著書に「農的暮らしを始めませんか～『耕す市民』のススメ」「だれでも持っている一粒の種 生活クラブ生協　レッスン ONE」共著　など。

オンライン講座

耕す市民のススメ第２弾

キエーロで生ごみ処理
無農薬・有機栽培に挑戦しよう

2023年3月23日（木）10時30分～12時30分
参加費 500円　3/18 耕す市民へ申し込まれた方は無料

キエーロは、毎日出る生ごみをなんとか家で処理できないものかと試行錯誤を続けた葉山在住の松本夫妻が、10年かけてたどりついた最後の形。生ごみのリサイクルの様子や、分解した堆肥を使ってどんなことができるのか、などお話を伺います。

講　師　松本信夫 さん
（キエーロ葉山）
神奈川県葉山町在住。土の中のバクテリアと毎日お話をして過ごしています。

春のトトロの森　散策ツアー

狭山丘陵のトトロの森周辺の里山を散策しながら都市近郊に残された豊かな自然を愉しみます。約5キロ（1時間40分）の散策です。
【定員10名】※小雨決行

4月22日（土）10時～15時
集合：西武池袋線「西武球場前」駅 改札口 10時
解散：トトロのふるさと基金クロスケの家　15時

■案内人：早川直美さん・菊一敦子さん
（公益財団法人トトロのふるさと基金　理事）
■参加費：1,500円　※クロスケの家入場料、保険料を含みます
■持ち物：お弁当、飲み物、帽子、雨具（念のために）

開発されずに残された
里山の景観を楽しみましょう。

koyaba カフェ

待ちに待った春の訪れ、どこかに出かけたくなりますね。ということで、以下のテーマでお待ちしています。

3月6日（月）14時～15時30分
「春に出かけたいところ」

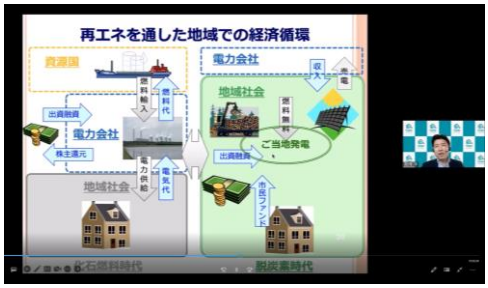
4月13日（木）14時～15時30分
「私のイチ押しの
おすすめスポット」

参加費無料、オンラインでのおしゃべりの場です。メールでお申し込みください。

生活クラブ生協・大人の学校共催　〈食と環境カレッジ 2022〉　1 月 28 日開催

第５回『気候危機と脱炭素社会　～世界と日本の動向から～』

食と環境カレッジ 2022 第5回（2022年度最終回）の講師は、気候危機問題の第一人者である高橋洋さん。問題点や脱炭素に受けた再生可能エネルギーの必要性を、丁寧にお話いただきました。



（以下報告）

近年の様々な自然災害・気候変動に世界各国で「脱炭素」という一つの道筋が検討され、大国と呼ばれる国々もそちらにシフトを切っていく中、我が国の現状が何周も周回遅れになっているのは、なんとも情けない思いになりました。

お話はとても分かり易くまとめられていて、様々なデータを基にしたグラフなども多用され、内容は密度の濃いボリュームのあるものでした。「難しい」という苦手意識にとらわれることなくお話を聞くことができました。

また、再生可能エネルギー（以下再エネ）の「半永久的に供給される」「燃料費は０」という優位性を改めて確認できました。今までの地域が潤わない仕組みから、再エネをうまく使うことで地域に経済循環をもたらすことができる仕組みづくりへの転換の必要性や、私たちが再エネを広めていくために、電力市場が公正ではない現状が障壁になっている等々、正しい情報を見極めていくことの大切さを痛感しました。

（雫石）

講師の高橋洋さん

都留文科大学地域社会学科教授。学術博士。専門は電力自由化、再生可能エネルギー政策、エネルギー安全保障。著書に、『エネルギー転換の国際政治経済学』（日本評論社、２０２１年）、『エネルギー政策論』（岩波書店、２０１７年）、『電力自由化―発送電分離から始まる日本の再生』（日本経済新聞出版社、２０１１年）など。内閣府再生可能エネルギー規制総点検タスクフォース委員など、複数の政府の審議会委員を歴任。

被災地を忘れない！　１冊の本がつなぐ応援の輪

大人の学校は、被災地を応援しています。
岩手県陸前高田市立図書館の本を充実させるための寄付を継続して行っています。

賛同いただける方は、生活クラブ本部 2 階　大人の学校事務所まで本をお持ち下さい。
般雑誌など。古いものや汚れているものはご遠慮ください。

大人の学校の本棚は、生活クラブ本部２階（川口市小谷場206）、階段を上り切ったところに設置しています。

お取扱いできないもの　ISBN のない本、百科事典、個人出版本、マンガ、一般雑誌など。

問い合わせ先
特定非営利活動法人 大人の学校
〒333-0857 川口市大字小谷場 206
生活クラブ生協内
電話/ファックス　048-423-3313
メール　otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

お電話の場合は平日の 10 時～16 時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

大人の学校　スタッフのつぶやき

公民館の日本語ボランティアグループで日本語学習支援を始めて９年近くになる。対面での学習を基本にしているため、コロナ禍の２年半くらいは感染拡大防止のためにほとんど活動ができず、ようやく活動ができるようになったのは昨年の秋頃からだった。

コロナ禍が始まって母国に帰った方もいたし、日本人ボランティアでも、自身や家族に重篤化の可能性があるため退会を選ばれた方たちもいた。ようやく再開した教室に、待っていましたとばかりに戻ってきてくれたのは、コロナ禍以前からこの地域で暮らし、働き、子育てをし、一緒に日本語を学んできた人たちだった。

平日午前中のクラスはほとんどが女性ということもあってか、学習終了のベルが鳴っても熱心なおしゃべりがなかなか終わらない。最近は新しく学習を希望する人たちも増えてきた。まだまだマスクは外せないが、また来週！と言える日が続くことを願っている。

（くまちゃん）